

# 感染症ニュース

No.253 2026/05/22

文責：竹鼻 純子

## <流行中の感染症>

### 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

新型コロナウイルス感染症出現当初に比べると症状が軽くなり、受診しないまま行動し続ける方が多くなったため、流行が拡大しやすくなっている。それでも高齢者は重症化しやすいので、今後も高齢者の重症化予防のためには、新しい流行株に対応したワクチン接種や、高齢者施設などでの徹底した感染予防策の継続が必要で、普段の生活でも基本的な予防策を継続し、手洗いに加え、特に3密となるような場面ではマスクを着け、よく換気することが大切である。

### 溶連菌感染症

発熱、のどの痛み、発疹が主症状で、小児のみならず成人の感染も多く、コロナ明けから高水準で流行が続いている。再感染や再発例も多い。経口抗生剤が有効だが、症状が治まっても10日前後服用を続けないと腎炎などの合併症を併発する。

### 感染性胃腸炎

今年は、全国的にノロウイルスによるウイルス性胃腸炎の食中毒が多く発生し、富山県でも複数の報告あった。これからの季節は、細菌による食中毒に要注意。石鹸による手洗いを徹底する。

### 手足口病

夏に多い感染症で、富山県内で拡大している。水疱が、手のひらや足の裏、口の中や口の周りにできる。病原体となるウイルスは何種類もある。熱が出たり、口の中の痛みのために飲食ができなくなったりして、脱水症になりやすい。時に、髄膜炎や脳炎を合併することもある。くしゃみや唾液から感染するだけでなく、患者の便中にも1か月程ウイルスが存在するため、徹底した手洗いが必要である。ワクチンや特効薬は無い。